



●はちのへし
八戸市
 ●はちのへしみなとたいけんがくしゅうかん
八戸市みなと体験学習館
被災した港を見渡す高台で防災を学ぶ

港 町・八戸市は青森県でも被害が大きかったエリア。八戸港を見下ろす高台の館鼻公園内にある八戸市みなと体験学習館は、地域の歴史・文化と東日本大震災の被害を伝える場として2019年7月にオープンしました。

防災学習フロア(1階)にあるのは、震災当時の状況を体感できる「震災タイムトンネル」、発災から復興までの記録をまとめた「津波アーカイブ」、防災グッズの展示など。震災についての学びを通して防災意識を高められる内容となっています。歴史・文化学習フロア(2階)では、八戸の魅力を紹介する「湊ワイドスコープ」、昭和30年代の様子を再現した「ミニジオラマ」などで地域の歴史と文化を感じることができます。

施設と同じ館鼻公園内に立つグレットタワーみなとの展望室から、八戸の港や町並みを見渡してみるのもおすすめです(入館無料)。

八戸市の被害状況

最大震度	5強
浸水面積	9km ²
最大浸水深	11.18m
全壊	254棟
半壊	624棟
一部損壊	851棟
死者	1人
行方不明者	1人
負傷者	71人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

2階「歴史・文化学習フロア」にある「湊ワイドスコープ」。高さ2.6m、幅13mの大型スクリーンに、八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの伝統行事をはじめ、種差海岸の風景など地域の魅力が映し出される



1階「防災学習フロア」の中央にある「震災タイムトンネル」。正面と左右にモニターが配された通路を歩きながら、東日本大震災の津波が迫ってくる様子などを映像と音響でリアルに体感できる



「震災タイムトンネル」を抜けたところにある「津波アーカイブ」。写真や新聞記事を用い、東日本大震災当日の状況を時系列で展示する。復旧の経緯、被災地に寄せられた支援などについても紹介している

考えてみよう

Q1 体験学習館2階にある「みなとカフェ」。青森県内でも提供するのが珍しいという“冷めてもおいしい”あるものが食べられます。それは何でしょうか？

A1 防災食のメニューが食べられる。カレーや牛丼など非常時の食事を体験することができる。防災グッズの販売もあり。

展示
 交流拠点

施設DATA

●はちのへしみなとたいけんがくしゅうかん
八戸市みなと体験学習館
 ☎ 0178-38-0385 MAP P110E4
 ④ 八戸市湊町館鼻67-7
 ⑤ JR陸奥湊駅から徒歩10分
 ⑥ 9～19時(7・8月は～21時、7・8月の日曜は6時30分～21時)
 ⑦ 休曜(祝日の場合は翌日)
 ⑧ 無料
 ⑨ あり(大型バス:あり)

施設ガイド 車椅子OK